




(2) 校内研修の具体例

① 5分コース「ワンポイント研修」(打合せ・職員会議など)

理論編

	研修内容	ねらいと流れ	
道徳科の基本を押さえる	基本的な理論 1 〈教科化の背景・道徳科の目標〉  理論 「教科化の背景」 「道徳科の目標」 p 5～7	ねらい	教科化の背景と道徳科の目標について、共通理解を図る。
		流れ	① これまでの道徳の授業を振り返り、教科化されて変わったことはどのようなことだと思えるか、意見を交換する。 ② サポートブックで、「教科化の背景」と「道徳科の目標」を確認する。
	基本的な理論 2 〈「考え、議論する道徳」の捉え方〉  理論 「『考え、議論する道徳』の捉え方」 p 8	ねらい	「考え、議論する道徳」の捉え方について、共通理解を図る。
		流れ	① 「考え、議論する道徳」の各自の捉え方をワークシートに書き、共有する。 ② サポートブックで、「『考え、議論する道徳』の捉え方」を確認する。
明確な意図を持つ	内容項目の理解  授業づくりのポイント 「内容項目を理解するポイント」 p 6 2 内容項目集 p 1 0～1 1	ねらい	児童生徒の発達段階に応じて指導内容が異なることを押さえ、内容項目の理解を深める。
		流れ	① サポートブックで、「内容項目を理解するポイント」を確認する。 ② サポートブックの「内容項目集」で指導の要点について、確認する。
	教師の明確な意図  授業づくりのポイント 「教師の明確な意図」 p 6 6	ねらい	「明確な意図」を持つために必要な3点（内容項目の理解、児童生徒の実態把握、教材の活用）についての理解を深める。
		流れ	① 道徳の授業づくりで大切だと思うことについて、意見交換をする。 ② サポートブックで、「教師の明確な意図」について、確認する。
	学習指導過程 4つのポイント (全体)  授業づくりのポイント 「学習指導過程4つのポイント」 p 6 1	ねらい	1時間の学習指導過程を構想する時に押さえておきたい4つのポイントを確認する。
		流れ	① 普段の道徳の授業をどのような流れで構想しているか、意見交換をする。 ② サポートブックで、「学習指導過程4つのポイント」を確認する。

学習指導過程を構想する

理論編 6	学習指導過程 4つのポイント 〈問題意識を持たせる〉  授業づくりのポイント 「導入の工夫」 p 6 8	ねらい	児童生徒が問題意識を持つための導入の工夫について、理解を深める。
		流れ	① 普段の道徳の授業の導入場面でどのような学習活動をしているか、意見交換をする。 ② サポートブックで、「導入の工夫」について、確認する。
理論編 7	学習指導過程 4つのポイント 〈多面的・多角的に考えさせる〉  授業づくりのポイント 「多面的・多角的に考えさせる学習」 p 7 3～7 4	ねらい	児童生徒が多面的・多角的に考えるための工夫について、理解を深める。
		流れ	① 短めの教材を取り上げ、多面的・多角的に考えさせるために、どのような発問や学習活動ができるか、意見交換をする。 ② サポートブックで、「多面的・多角的に考えさせる学習」について、確認する。
理論編 8	学習指導過程 4つのポイント 〈自分との関わりで考えさせる〉  授業づくりのポイント 「自分との関わりで考えさせる学習」 p 7 1	ねらい	児童生徒が自分との関わりで考えるための工夫について、理解を深める。
		流れ	① サポートブックで、「自分との関わりで考えさせる学習」について、確認する。 ② サポートブックの学習指導案集で発問や学習活動の例を確認する。
理論編 9	学習指導過程 4つのポイント 〈自己(人間として)の生き方について考えさせる〉  授業づくりのポイント 「終末の工夫」 p 7 0	ねらい	児童生徒が自己(人間として)の生き方について考えるための終末の工夫について、理解を深める。
		流れ	① サポートブックで、「終末の工夫」について、確認する。 ② サポートブックの学習指導案集で発問や学習活動の例を確認する。
理論編 10	発問づくり  授業づくりのポイント 「発問づくり」 p 7 5～7 8	ねらい	授業のねらいに迫るための発問づくりについて、理解を深める。
		流れ	① 普段の道徳の授業で、どのような発問をしているか、意見交換をする。 ② サポートブックでねらいに応じた発問の例を確認する。
理論編 11	評価の基本的な考え方  道徳科の評価 「評価の意義」「授業構想から評価までの流れ」「見取りの方法」「見取りの工夫」 p 8 5～8 9	ねらい	道徳科の評価についての基本的な考え方と見取りの方法について、共通理解を図る。
		流れ	① 道徳科の評価をどのように行ってきたか、どのように行えばよいと思うかを、意見交換する。 ② サポートブックで、道徳科の評価の基本的な考え方と評価を行う際に押さえておきたい大きな2つの視点を確認する。

発問を工夫する

評価の基本を押さえる

研修会の進め方

(例) 5分コース「ワンポイント研修」 理論編2 「基本的な理論2」

ねらい	「考え、議論する道德」の捉え方について、共通理解を図る。		
準備物	参加教師：サポートブック、筆記用具 進行役の教師：サポートブック、ワークシート		
研修の流れ	時間	活動内容	進行手順
	30秒	ねらいの確認	「道德科では『考え、議論する道德』の授業への転換が求められています。今日は、『考え、議論する道德』とはどのような授業なのか、みなさんで考えていきたいと思います。」
	4分	「考え、議論する道德」について考える	「『考え、議論する道德』とは、どういう授業だと思いますか。ワークシートに書いてみてください。」 (書く) 「書いたことを3～4人の小グループを作って共有してください。」 (話し合い) 「学年で話してみて、『やっぱりそうだよね』や『そんな考え方もあったのか』と思った考えはありましたか。今、先生方が行ったことが、道德科で言う『議論する』ということの第一歩だと思います。」 ・サポートブックの「考え、議論する道德とは」を基に説明する。
	30秒	まとめ	「これから道德の授業を行う際に、今日みなさんで考えて確認した『考え、議論する』ことを意識して進めていきましょう。」

ワークシート例

5分コース「ワンポイント研修」

考え、議論する道德とは？

「考え」とは？

「議論する」とは？

このような研修を継続することで、日常的に道德について話し合える雰囲気ができ、学校全体の授業力を向上させることにつながります。

